



国内最大級の“花と緑”に関する総合園芸ショウ

第27回 2017 日本フラワー&ガーデンショウ

JAPAN FLOWER & GARDEN SHOW 2017

第3回ガーデニングコンテスト 結果発表

公益社団法人 日本家庭園芸普及協会（所在地：東京都中央区、会長：羽田光一）は、全国から最新の花と園芸に関する商品はもとより、園芸・造園の情報、花をモチーフとした一般生活関連商品等を一堂に会した、国内最大級の花と緑に関する総合園芸パブリックショウ『2017 日本フラワー & ガーデンショウ』を、去る2017年4月1日（土）～3日（月）までの3日間、パシフィコ横浜 展示ホールC・Dにて開催しました。

今回のショウは、1991年に幕開けした第1回目の開催以来、第27回目の開催となり、ショウテーマを『花を楽しみつくす ～家族で楽しむ！花と緑の3日間～』、シンボルフラワーを『バラ』とし、出展規模95社201小間で来場者をお迎えしました。そしてその結果、61,280人（1日：18,345人、2日：24,823人、3日：18,112人）にご来場いただき、会場規模・来場者数共に、前回は上回る盛大な開催となりました。

■来場者数 実績

日程	1日（土）	2日（日）	3日（月）	3日間合計
来場者数	18,345人	24,823人	18,112人	61,280人
天候	雨のち曇	曇	晴	-

※前回（2016年）来場者数（3日間合計）は 59,525人

第3回ガーデニングコンテスト 結果発表！

本ショウでは、昨年、一昨年の開催に引き続き、「第3回 ガーデニングコンテスト」を実施しました。一般園芸愛好家を対象に、コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門、ミニガーデン部門の3つのカテゴリーで作品を募集したところ、多くの力作が全国から集まり、ショウ開催期間中、作品が展示された会場は、常に多くの来場者で賑わうコーナーとなりました。

本ショウにおける「ガーデニングコンテスト」の実施は、出品者にとって、日頃から培ってきたデザイン力、植え付けの技術、提案性などを活かした作品を、多数の来場者や関係者に披露できるまたとないチャンスになります。また、来場者の多数を占める首都圏在住の一般園芸愛好家にとっては、一流の技術によって作られた作品の数々を間近で見ることができるだけでなく、限られた居住空間でもできる園芸の楽しみ方の実例として、最高の手本を觀賞できるという点で、非常に意義のあるイベントと考えております。

実施にあたっては「日々のガーデニングライフのヒントになるような作品」、「これからガーデニングを始めてみたいというきっかけになるような作品」が並ぶようなテーマ設定とすることで、当協会の創設理念でもある家庭園芸の普及及び啓発につなげたいと考え、本年のショウのテーマ『花を楽しみつくす ～家族で楽しむ！花と緑の3日間～』に由来する「**家族で楽しむ**」を作品づくりのテーマとして表現していただきました。

集まった作品数は、77点（コンテナガーデン部門：27点、ハンギングバスケット部門：43点、ミニガーデン部門：7点）となり、会期前日の3月31日（金）16時より、別紙1に記載の審査員による厳正なる審査を行いました。

また、審査員による各賞に加え、4月1日及び2日の2日間、来場者による人気投票を実施して、3つの部門ごとに最も得票数の高かった作品に「ピープルズチョイス賞」を贈りました（※2日間の総投票数は3,000票）。さらに本年は多くの学生の皆様からエントリーをいただいたため、学生の作品のみを対象とした「学生特別賞」を設け、上記審査会にて各部門ごとに1組の受賞者を決定いたしました。そして各賞の受賞作品は別紙2の通りとなりました。

審査員について

3月31日（金）に下記の9名の審査員によって、審査が行われました。

部門名	審査員	プロフィール
コンテナガーデン 部門	杉井 明美	（一社）風のみどり塾代表理事、 グリーンアドバイザー認定審査会委員
	深町 貴子	東京農業大学短期大学部非常勤講師、 グリーンアドバイザー認定審査会委員
	羽田 光一	（公社）日本家庭園芸普及協会 会長
ハンギング バスケット部門	山口 まり	日本ハンギングバスケット協会理事、 グリーンアドバイザー園芸ソムリエ
	間室 伸子	日本ハンギングバスケット協会本部講師、 グリーンアドバイザー園芸ソムリエ
	有吉 和夫	（公社）日本家庭園芸普及協会 ショウ委員長
ミニガーデン部門	正木 覚	ジャパンガーデンデザイナーズ協会名誉会長、 エービーデザイン(株) 代表取締役
	近藤 三雄	東京農業大学名誉教授 農学博士 グリーンアドバイザー認定審査会委員長
	渡辺 優	（公社）日本家庭園芸普及協会 ショウ実行委員長

表彰式について

表彰式は、ショウ最終日の4月3日（月）に行われ、受賞者に対して、主催者である公益社団法人 日本家庭園芸普及協会会長 羽田光一より表彰状が授与されました。



コンテナガーデン部門
金賞表彰の様子



ハンギングバスケット部門
金賞表彰の様子



ミニガーデン部門
金賞表彰の様子



受賞者の記念撮影

第3回ガーデニングコンテスト 結果発表

(受賞作品画像、受賞者名、作品タイトル、アピールポイントについて)

コンテナガーデン部門

金賞



蛭間 大・蛭間 亜希子

「そらとあい」

春の日差しに包まれて、愛犬(そら)と愛猫(あい)と過ごす穏やかな休日。

銀賞

ピープルズチョイス賞



昆 志穂

「ファミリータウン」

1人1人個性の違う人間が家族として繋がって関係し合っている様子を町に見立てて表現しました。

銅賞



福田 敏恵

「Banquet～晩餐会～」

春風に誘われて、家族と友人と虫も鳥も動物も。草花を囲んで踊りだしたくなるようなひとときを！

奨励賞

学生特別賞



日本ガーデンデザイン専門学校

武内 章太郎・浜田 妙子・宮田 拓末

「思い 思い出 あふれる」

家族の大切な思い出達が動き出し、絡み合っていて繋がりが溢れ出す。

第3回ガーデニングコンテスト 結果発表

(受賞作品画像、受賞者名、作品タイトル、アピールポイントについて)

ハンギングバスケット部門

金賞



門脇 貴子
「優しい思い出」
色とりどりの花が、集まって醸し出す
優しいハーモニーを感じてください

銀賞



石川 久美子
「Volver ～帰郷～」
子供の頃に家族で見た、故郷の景色を思
い出しながら作成しました。背景と作品
に一体感をもたせました。

銅賞



長谷川 享子
「花の賑わい、家族の賑わい」
瑞々しい花と緑で、
心がホットする花かご。

奨励賞

ピープルズチョイス賞



町谷 和郁子
「春、ふわり」
寒さも緩んできました。草花の
芽吹き、新緑を見に、みんなで
お出かけしませんか。

学生特別賞



日本ガーデンデザイン専門学校
浜田 妙子
「優しさをかごにつめこんで」
庭からつんで、大切にかごへ
入れたハーブ。生活の助けになっ
てくれるハーブへ、感謝ながら
つくりました。

第3回ガーデニングコンテスト 結果発表

(受賞作品画像、受賞者名、作品タイトル、アピールポイントについて)

ミニガーデン部門

金賞

ピープルズチョイス賞



奏園 株式会社

「Family DIY! -japanese tea style-」
和のteatimeは美文化です。迎える心と
招かれる礼儀。それを学べたのは家族で
楽しんだ庭でした。

銀賞



株式会社 花門フラワーゲート

「家族の憩い」
シンボルツリーを中心に、それぞれの庭
をつくりながら、家族みんなで笑ってす
ごすのが私たちの楽しみです。

銅賞

学生特別賞



神奈川県立中央農業高校

饗庭 自風、若林 采花、井上 匠、吉田 歩

「時の箱庭」

昔はきっと笑い声などで賑わっていたで
あろう廃屋。自然にできた風景。2つに
よってできる調和。

奨励賞



日本ガーデンデザイン専門学校

16期生 ミニガーデン班

「特別な時間」

植物達が醸し出す生命の力強さやエネル
ギーが詰まった空間に流れる特別な時間
を感じてほしい。

«この件に関するお問い合わせ先»

2017日本フラワー & ガーデンショー推進事務局

TEL・FAX/03-3263-3680